

平成 23 年柏陵セミナー **カルチャー三題** 担当 高校第 17 回生

講演 バイオ医療分野における現状と将来性

講師 梅津 浩平 氏 薬学博士 (高校 17 回生)

略歴：京都大学薬学部を卒業 後 三菱化成(株)、三菱ウエルファーマ (株) 執行役員研究本部長、三菱化学 (株) 執行役員ヘルスケア企画室長、三菱化学メディエンス (株) 常務等を経て、平成 22 年退職。現在 和洋女子大客員教授

内容：21 世紀の夢の技術であるバイオテクノロジーの医療関連分野における現状と将来性について

バイオテクノロジーは「再生医療」、「DNA 鑑定」、「遺伝子治療」、「遺伝子組換え農作物」等を生みだしてきました。その成果の一つである「遺伝子診断」は、全ての患者さんに有効で副作用のない薬を与える新しい医療(テーラーメイド医療:個別化医療)に貢献することが期待されています…が…?

特に「個別化医療の現状と夢、問題点について」お話しします。

フルート演奏 デカルコマニー 作曲 頼澤 豊 氏 演奏 増本 竜士 氏

作曲者 頼澤 豊 氏 (高校 17 回生)

略歴：東京医科歯科大学卒業 歯科医 シェーンベルク、ウエーベルン他 三善晃、武満徹等の現代音楽に感銘を受け独学で勉強を続けている。

デカルコマニーとは水面に絵の具や墨を浮かせて、それを紙に転写するという美術の技法の一つであり、詩人瀧口修造の作品がよく知られている。創造する行為としての音楽においても、デカルコマニーという技法に内在するものは共通のものであり、その象徴性に鑑みて題名としました。

演奏者 増本 竜士 氏

略歴：神戸生まれ、三田学園、東京芸大卒業後文化庁在外派遣研修員として渡欧、ロームミュージックファンデーション奨学生、パリ国立高等音楽院、ジュネーブ音楽院、他多数を経て現代音楽演奏コンクール・日本フルートコンクール・ハイファ国際コンクールなど受賞多数。

写真展 ふるさと柏原 写真家 木下 修 氏 (高校 17 回生)

略歴：岡山大学理学部を卒業後 杏林製薬入社、平成 20 年よりフリーランス

中谷吉隆・岡井耀毅の両氏に師事、個展多数。雑誌・日本フォトコンテスト、日本カメラ、フォトコン、美術の森などに口絵等掲載

所属団体 日本写真協会、光塾 (岡井耀毅氏主催)